

令和2年度第3回 高浜市総合教育会議 議事録

開会日時 令和3年2月4日(木)午後2時30分

閉会日時 令和3年2月4日(木)午後3時56分

場 所 いきいき広場3階多目的ホール

■ 出席者

市長

教育委員会 教育長 都築 公人

教育委員会 教育長職務代理者 磯貝 政博

教育委員会 委員 後藤 恵理

教育委員会 委員 磯貝 毅

教育委員会 委員 加藤 洋子

■ 欠席者

なし

■ 会議構成員以外の出席者及び事務局

副市長 神谷 坂敏

学校経営グループリーダー 岡島 正明

学校経営グループ主幹 鈴木 剛

■ 傍聴者 0名

1 市長挨拶

高浜市長 吉岡初浩

皆様、こんにちは。3回目の総合教育会議にご参集をいただきましてありがとうございます。日頃は教育委員会の皆様方には高浜市の教育に関してさまざまな意見を頂戴し適切なご指導をいただいております。本当にありがとうございます。今まさにコロナの課題が目白押しであります。高浜市では直接学校の中で感染が広がっている状況にはないのですが、ひとりふたりご家庭での感染がある状況です。保育園幼稚園に関しましては、こども園で先日感染がありました。広がっているというよりもそこにいた方々が濃厚接触、その後陽性になるというようなことがあり少しの間お休みを頂きましたが、今は子どもさんたちは安心して通われていると思います。今年の前半に予防接種が始まり、2月の半ばには医療関係者に接種を行うということです。本市においては、高浜豊田病院で医療関係者の予防接種を行っていきます。今日も医師会があり予防接種全体をどういう風にやっていくかについて改めてお願いをして10日の議会で補正予算のご可決をいただく予定です。いずれにしても、個別と集団と病院という接種になりますので、それぞれのドクターには大変なご苦勞をおかけすることになると思います。集団接種はやったことがないですし職員も不慣れですが、ある期間の間にこなさなければいけないことになります。学校に関しては、今のところ感染は広がっていませんが、先生や子どもさんたちの接種は後ろのほうになり、スケジュール的に厳しいところがあります。前倒ししていければいいのですが、供

給されるのも受け身ですし冷蔵庫等も2月には1台入りますが、その後もどのようになるのかよくわからないような状況で、予防接種の日程を市町村で変えるのも不可能ですから国の日程に従ってできるだけ円滑に進めてまいりたいと思っております。それぞれのお立場でご協力をいただきたいと思っております。学校の話とは離れてしまいましたが、本日も3回目ということで、港小学校と南中学校の学校経営方針に基づく取組状況について、令和3年度教育委員会予算(案)についてご協議いただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

## 2 議題

### (1)学校経営方針に基づく取組状況について

#### ○吉岡市長

(1)学校経営方針に基づく取組状況についてを議題といたします。まず、南中学校の取組状況についてご報告をいただきます。

#### ○南中学校校長

資料1により、学校経営方針に基づく取組状況について説明する。

#### ○吉岡市長

ご質問等はありませんか。

#### ○都築教育長

本当にイレギュラーな年が校長さんの最初の年になったことを同情しますが、校長の仕事として重要なことは決断することだと思っております。清水校長がこの一年さまざまな場面で決断してきたと思っておりますが、一番苦しかった決断は何だったのでしょうか。

#### ○南中学校校長

スキー合宿の中止です。

#### ○都築教育長

予想通りでした。結果論ですが、早めに決断してよかったと思っております。これからも校長職を続ける限りはそういった苦しいことはいっぱいありますので、校長さん同士の意見を参考に4役や職員の意見を聴きながら最終的に自分が責任をもって決めていただきたいと思っております。

#### ○吉岡市長

今の時期であると感染症を広げないということを第一に考える必要があります。公共施設等も夜8時まで、収容する人数も半分まで、換気と手指消毒を徹底してやらせていただいておりますが、市内の事業者さんにとっては厳しい選択かなという気がします。学校においても、子どもさんの濃厚接触があった場合の対応とか、最初の頃に比べると随分みなさん手馴れて、保健所と相談しつつ学校を休校するようなこともありませんでした。まだ終わってはいませんが、幸いだったと思っております。

他にご質問等がないようでしたら、続いて、港小学校の取組状況についてご報告をいただきます。

#### ○港小学校校長

資料2により、学校経営方針に基づく取組状況について説明する。

○吉岡市長

ご質問等はありませんか。

○都築教育長

第1回目の時に奥谷校長には校長の務めとしていかにいい先生をつくるかということを目指してやってほしいということをお願いしました。どのようでしたか。

○港小学校校長

前回申し上げたように、本校は本校勤務経験が長い先生が多く、港の子だからしょうがないという言葉が聞かれたのが残念でした。あきらめないこととかいろんな子がいて当たり前でそういう子たちをとりこぼさないみたいな発想が出来るといいと思っていますので、来年度心掛けていきたいと思います。

○都築教育長

1年経ちましたので来年度から奥谷色を出して十分いけるのかなと思いますし、あなたが新卒で頑張ってた学校なのでごく期待したいと思います。

○吉岡市長

欠席率が1.6%となっていますが、どんなものでしょうか。

○港小学校校長

高浜中学校から来ましたのでごく少ないと感じます。インフルエンザによる欠席もゼロでした。

○吉岡市長

子どものアンケートでは、30分放課に外で遊ぶことが多いと答えた児童が75%となっています。外で遊ぶ子が少ないと思いますが、そのあたりはいかがでしょうか。

○港小学校校長

コロナ対応で外に遊びに行かないようにとは言ってないのですが、放課は外に行くんだよと奨励も出来ていません。そういう中で逆に結構外に出てるなと思いました。

○吉岡市長

学校生活は楽しいと答えた児童が91%、元気よくあいさつしていると答えた子が83%となっています。結構小学校の子どもさんは学校に来て楽しいと思うのですが、市のアンケートでも似たような傾向があり1割くらいの子どもは楽しくないと思っています。いかがでしょうか。

○港小学校校長

楽しくないというのは友達関係とか勉強がわからない子が入っていると思います。

○吉岡市長

あいさつも含めてこのあたりを先生がしっかり押さえられていれば、この子は注意しなくてはいけなくて対応できるのではないかと思います。

○港小学校校長

あいさつは本当にそう思います。SDGs にもありますが、誰一人取りこぼさないという

のが自分の頭の中にも残っていて、そういう少数派の子たちとか、この子を気にかけていかなきゃいけないという子をしょうがないでは済まさずにやっていくということを先生たちに働きかけていきたいと思います。

○吉岡市長

地域から信頼される学校をつくるについて、心配な数字が出ています。保護者アンケートでは、学校の情報がよくわかるが86%となっています。教職員アンケートでは、学校や子どもたちの様子を保護者へ伝えているが71%と先生がそう評価している以上、保護者はあまり情報がもらえていないと感じており、それが保護者アンケートで学校は安全で落ち着いた環境づくりに努めている91%という数字にも反映していると思います。親御さんはどこに不安を感じてみえるのでしょうか。

○港小学校校長

港小学校は働き方改革により学年だよりがパターン化されており、全校統一の連絡事項とその月の行事と学年共通の連絡事項と時候のあいさつとなっています。子どもの様子、作文、写真とかがないのでそういう点では伝わりにくいと思います。

○吉岡市長

タブレットが渡されるようになり家に持って帰る場面もあると思いますので、そういうものを活用して発信力を上げてもらえるといいと思います。親御さんたちがなぜこう思っているのだろうという視点を持ち改善していただきたいと思います。

○磯貝政博委員

多忙化解消の取組がすごく出来ているというふうにお見受けしたのですが特別に何かされたことはおありですか。

○港小学校校長

前任校長が働き方改革を推進されました。先ほどの学年だよりも作り方をパターン化することで短時間で出来ます。子どもの作文を選ぶとかという作業もいらないです。また、会議もほぼなく、職員会議はありますが、1時間で終わります。時間をかけるという部分と多忙化解消というのは表裏で難しいのですが、そこを要領よくやっていくことは大事なかなと思います。

○吉岡市長

いろんな考え方があるのですが、重点的にこれについて取り組もう、意識的にひとつくらいは全体として取り組んで欲しいと思います。ありがとうございました。

(2)令和3年度教育委員会予算(案)について

○学校経営グループリーダー

資料3により、令和3年度教育委員会予算(案)について説明する。

○吉岡市長

ご質問等はありませんか。

○吉岡市長

タブレット端末はLTE方式を採用しました。LTE方式はたくさんの同時接続に強くスム

ーズにつながるといった特長があります。Wi-Fi環境を整備してもうまくつながるかどうかが保証もないということと小中学校はWi-Fi環境がほとんど整備出来ていなかったためWi-Fi環境を全部整備すると設備・ハードに結構かかり、5年間の整備費もLTE方式のほうが安くなります。現在、通信料も下がる傾向にありますし、国にもこういう方向に変えたらどうかということをお願いしています。その他教育の関係は多くの予算がついています。しばらくは学校を整備していくことが中心になっていきます。なお、小中学校タブレットの関係と高浜中学校のトイレの改修に関してはポートレースチケットショップの協力を全額充てさせていただきます。また、この中には載っていませんが、35人学級を国が明言しましたので今後5年間で小学校はすべて移行することになります。本市の場合、大きなハード整備は必要ありませんが、教室が不足してきた場合は改修する必要がありますので、早速、愛知県の市長会の方に連絡して調査をしてもらっています。令和3年度教育委員会予算(案)については以上でよろしいでしょうか。

### (3)その他について

#### ○吉岡市長

その他についてを議題といたします。何かありましたらお願いします。

#### ○都築教育長

この大変な時期に教育予算をたくさんつけて頂いたことに対して感謝したいと思います。ありがとうございます。今年度はGIGAスクール構想が昨年の暮れから降ってわいてきました。最近授業を観に行く中で、高浜中学校2年の理科と翼小学校6年生の社会科の授業で本当に1人1台のタブレットと電子黒板を上手に使う授業を2回連続で観させていただきました。ひとつは理科でテーマが「ワイヤレス充電器はなぜ充電できるか。」というものであります。資料提示を先生はあらかじめ生徒に送っておいて、生徒はそれを見て自分なりの考えを書いて送り、先生は電子黒板に全員の考えを並べ、この考えをどう思うと言って、また、生徒に送り、グループで話し合うようにして、考えをどんどん深めていくやりとりのツールとして使っていました。小学校の社会も同様に、資料の提示もするし、考えて記入もさせます。小学生は打ち込みの仕方が早い子と遅い子とすごい差があるので、プリントに書かせたものの写真を撮らせて送るといったことが行われていました。それはすごい工夫だと思いました。最後に、まとめて個人の意見を提出して終わりました。それを20代後半から30代前半の若い伸び盛りの先生たちが、短期間にこんなにタブレットを使いこなしてやれるのだなと思いました。いずれも45分、50分の授業の中で完結していました。先生は空き時間に見てフィードバックしていくと思いますけれども、タブレットの有効活用の無限の広がりを見た思いであります。タブレットの活用で今まで思い描いていたことが容易に出来そうだということを実現化した授業が既にある意味完成形のような形で観ることが出来たのがすごくうれしかったです。そうなったのはなぜかというふうにずっと見てくると市長さんの1人1台やろうという早い英断にあります。では、そこからどうすれば出来るかということで、ICT機器を調達する総務系と先生たちを主導する指導系をグループリーダーがまとめ学校経営グループの

中で一丸となって動き、今年度の8月に教員用のタブレットと電子黒板が入りました。児童生徒用も本来は8月に入る予定でしたが、1ヶ月ずれて9月になりました。この1ヶ月のずれが結果的に良かったと思います。今年度の夏休み期間中は授業がありましたので、わざわざ出て来てもらわなくても授業が終わってから電子黒板の使い方、タブレットの使い方、タブレットに入っているソフトの使い方の研修をすることが出来ました。この研修もNTTドコモが一括でやってくれました。この研修を夏休みに終えたことにより、9月から先生のタブレットと電子黒板を使った授業が最初にやれました。そして、9月末に使い方がわかった状況で子どもたちの1人1台タブレットが入ってきましたのでそのタイミングがとても良かったと思います。10月から本格的に1人1台タブレットを使った授業を皆さんにも観ていただいたのですが、質がどんどん高くなって先生たちの活用もすごく進歩していきました。何よりも子どもたちが何の苦も無く操っているのにはさすが現代っ子というふうに思いました。また、LTE方式で公平性が保たれ、誰でもどこでも使えますので、家にWi-Fi環境がなくても持ち帰らせることが出来るのも強みであります。また、他市のように今年度末にタブレットを整備するとした場合は端末は入りませんが、すぐ年度更新になるから使いようがありません。使えるようになるのは4月からとなりますが、4月になってから先生の研修をしてとなると年度始めのごたごたの中でやっておれないと思います。そうすると、早くゴールデンウィーク明けから動き始める。そうこうしているうちに夏休みに入ってしまう。ということは、私たちは市長さんの英断のおかげで他の市よりも1年くらいアドバンテージが出来たと思います。Wi-Fi環境で発生していた途中で通信が途絶えることもないので非常にありがたいと思っています。冒頭申し上げたように、若い先生の授業がここまでタブレットを使いこなして子どもたちと学び合うという個別最適化された学びの実現というのが出来たことにとても感動しました。また、岩間指導主事がこの高浜市の取組について1月5日に常滑の愛知県国際展示場で発表しました。その模様がオンラインで3月末まで配信されています。視聴するにはIDがいるのですが、それが終わっても1年間、県教委のホームページで流されるということになりましたので何かあれば目にしていただけるかなと思います。彼には他からいっぱい電話がかかってきています。それくらい注目もされているところでございます。

○吉岡市長

LTE方式で取り組んでいるのは少ないのでそういう代表的な事例としてこれがうまく伝われば国の方でご理解がいただけるのではないかと思います。多くの皆さんのご協力のおかげで調達も研修も早く出来ました。是非しっかり使っていただいて子どもたちが喜んで授業に参加できるようになるといいと思います。電子黒板を入れてない市もありますのでそこで大きな差が出てくるのではないかという気がします。

○学校経営グループ主幹

資料により、部活動改革のスケジュールについて報告する。

○都築教育長

今考えているのは、土日の活動をそれぞれの中学校の枠を外し、高中で野球をやるならば南中でサッカーをやる。そして、指導者は先生の中でも部活動をやりたい人がいますので登録してもらって、それからいろんな連盟があるので募集をかけて土日に子どもたちの指導をしてくださる方を募集する。そして、野球で集まる人、サッカーで集まる人、卓球で集まる人と別々の会場で学校開放の一環として実施し、1時間いくらかの報酬を出すというふうにやっていくのをたたき台として考えています。単位は高浜市で高中も南中も一緒に練習することになります。大会も多すぎるので中小体連の大会だけ出ていき、本格的にやりたい子はクラブチームに行くことになると思います。

○吉岡市長

働き方改革はやらなければいけない話なので進めていってほしいと思いますが、それぞれ課題はありますのでやれるところからやっていくというのが大事であると思います。学校の先生の一番大事なところは児童生徒と接する時間をつくっていただくということと教育をしっかりやっていただくというのが重要であります。それに付随したものに関しては、国も全部仕事としては無理ではないかというふうに動いていますので我々もそれには協力していかなければいけないと思っています。